

1部:安息のない安息日(ルカ13:10-17)

何かうまいかない時、結局誰か何かのせいにして、人生空回りして前に進めなくなる人が多いが、実は人間に絶対必要な安息があれば話は変わる。その安息はどこに...

1. キリストが抜けた安息日に真の安息はない。

1)安息日をよく守ることで - 信仰ではなく

①より多くのルール

②より徹底的に

③より厳格に

2) 安息のないルール化-いのちではなく

①思想づくり

②宗教づくり

③伝統づくり

3) 安息のない安息日は福音と正面衝突(怒り)

4)偽善者たち(ヨハネ 8:44)

2. 安息のない安息日は苦しみの中にいる人々を助けることができない。

1) 苦しみの中で

①サタンに縛られて

②病気の霊につかれて

③束縛

2) 人生の絶対必要 - 安息

①創世記 3:15

②出エジプト 3:18

③イザヤ 7:14

3) 現場に対する無関心と無能力

4)マタイ 11:28、ルカ 6:5、ヘブライ 4:10

今自分は安息なしで何を求めているのか、その求めているものがないから安息がないと勘違いしてないのかを吟味しよう！

常に条件、環境、状況よりキリストのいのちを優先しよう！

キリストのいのちより先走るすべての枠を砕こう！

まず、信者自分がキリストの中にある真の安息を味わい、真の安息が必要な現場に目を向けて関心を持って祈ろう！

2部: 真の希望-贖いの恩寵

(創世記 22:9-14)

信者が揺れるのは、希望でないものに希望を託しているからなので、聖書を通して真の希望を悟ることが求められるが、人間の真の希望は？

1. キリストの贖いの恩寵にのみ

1) イサクの代わりに雄羊が

2) 本来私が犠牲に

一血を流し、引き裂かれ、裁かれて罰せられ、死んで地獄へ

3) 私がそんな罪人と認めるなら

一エペソ 2:1-3

4) 世の何が私を

5) 最初から約束 創世記 3:15) し、贖いを預言 イザヤ 53:4-5) し、イエス様が十字架で成就 ヨハネ 19:30) され

6) イエスキリストの贖いによってのみ罪と呪いとサタンから解放され、いのちに預かれる

2. 贖いの恩寵に希望を見る人は、自身と比較意識から自由に

1) 神様はキリストの贖いのゆえに私を赦され

私もキリストの贖いにより自分を赦す

2) 人と比較する材料は希望とは無関係

3) 1コリント 1:27-31

3. 贖いの恩寵に希望を見る人は、救いの確信の中、大胆に御座の栄光を望む。

1) マタイ 6:31-33

2) 使徒 1:7-8

3) ローマ 5:1-2

「今まで頼りにしていた全ては希望を与えるものではなかった」ことを宣言しよう！

本当の希望を知らずにもがいている現場(人)を見て、うわべの問題ではなくキリストの贖いが必要な魂を見て、残りの生涯を未信者の救いのために生きよう！

1部-ルカ 13:10-17 安息のない安息日

なるほど/キリストが抜けた安息日に安息はなく、苦しんでいる現場を活かせないサタンの作品であり、真の安息は創世記 3:15 の主であるキリストにあり、キリストが共におられるすべての時間が安息日である。

ならば/自分は真の安息なしで何かを求めているのか吟味しよう！

条件や環境、状況より常にキリストのいのちを優先して、キリストより先走っている枠を砕いて、キリストにある安息を味わい、安息が必要な現場に目を向けよう！

2部-創世記 22:9-14 真の希望-贖いの恩寵

なるほど/自分が十字架の犠牲になるしかない罪人と分かれば、キリストの贖いの恩寵にのみ希望を見て、自分を赦し、比較意識から自由になり、救いの確信の元で神の栄光を大いに望める。

ならば/「今まで頼りにしていた全ては希望ではなかった」と宣言しよう！本当の希望を知らずにもがいている現場(人)を見て、うわべの問題ではなくキリストの贖いが必要な魂を見て、残りの生涯を未信者の救いのために生きよう！